

【概要】 ○原子力災害の実態と復興への取組を、国や世代を超えて継承・共有していくための情報発信拠点（アーカイブ）施設を、双葉町中野地区において整備する。平成32年度の運営開始を目指す。

【アーカイブ拠点施設概要】

《基本理念》 世界初の甚大な複合災害を経験した福島

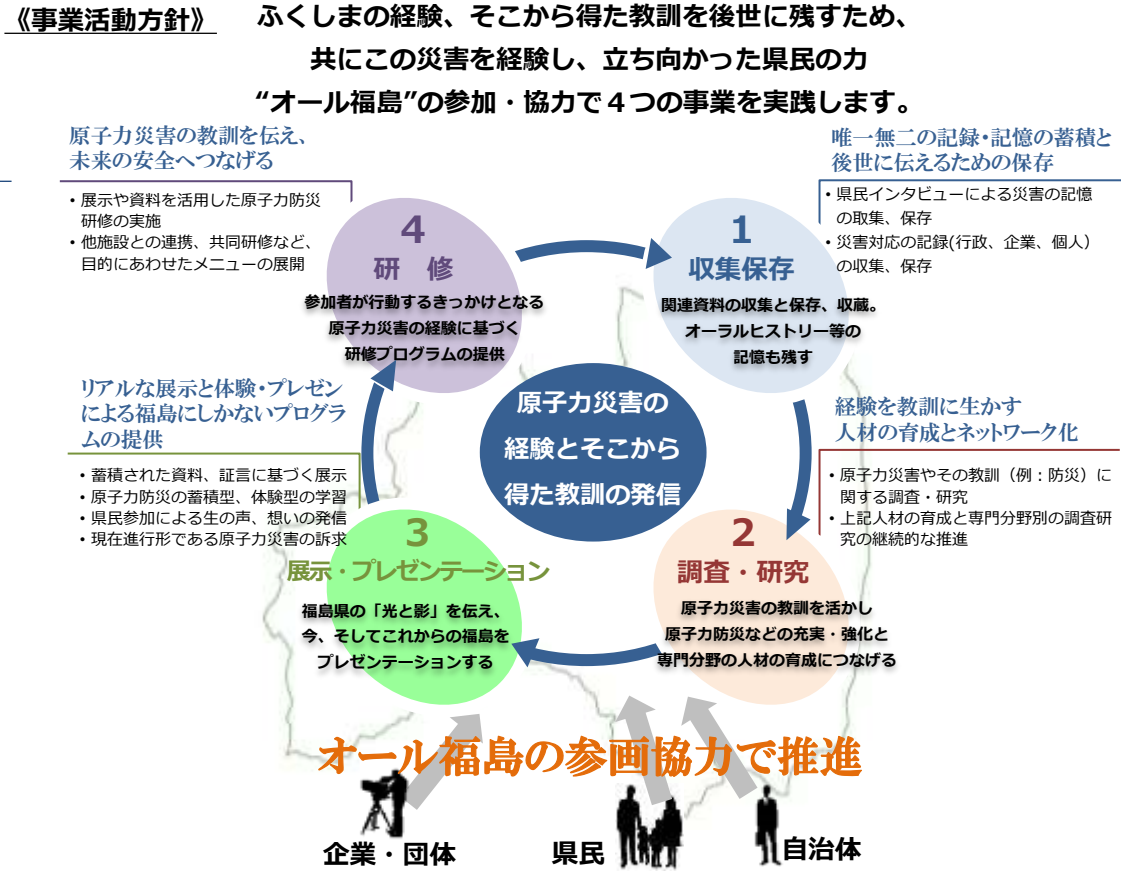
地震・津波災害 + **原子力災害**

この災害からの復興拠点として
人々が集うシンボルとなる場

原子力災害と復興の記録や教訓の
未来への継承・世界との共有

福島にしかない原子力災害の
経験や教訓を活かす
防災・減災

福島に心を寄せる人々や団体と連携し、
地域コミュニティや文化・伝統の再生、
復興を担う人材の育成等による
復興の加速化への寄与



【スケジュール】

29年度	30年度	31年度	32年度
建築・展示設計、建築工事・展示製作等			施設オープン

【平成29年度県予算】

- アーカイブ拠点施設整備事業【245,000千円】
施設及び展示について基本設計及び実施設計を行う
- アーカイブ拠点施設設置準備事業【108,234千円】
震災資料の収集や分類、シポジウムの開催や学習書籍の作成を行う